



みくびだより

発行 御首神社社務所

御挨拶

謹啓 当神社の御神域も深い緑に包まれて新しい息吹
きを感じられるようになりましたが、皆様方におかれま
しては愈々御清栄の事とお慶び申し上げます。

天皇皇后両陛下におかれましては、去る四月十五日、
赤坂御苑にて「春の園遊会」をご開催あそばされ、立法
行政・司法各機関の要人を始め、県市町村の長や各界の
功績者とその配偶者を併せ延べ二千人をお招きになり、
出席者一人一人に笑顔でお声をかけておられる両陛下の
お姿は、国民にとって有り難き極みであります。私ども
は、この大御心に少しでも報い奉るべく、常に念頭に置
かなければなりません。

さて、過日名古屋博物館では、「伊勢神宮と東海の
まつり」と題しまして、悠久の昔から伊勢神宮に受け継
がれる数々のご神宝や信仰の歴史を紹介する催しが開か
れ、期間中多くの来場者で賑わいました。ついでには、三
年後に控えております神宮式年遷宮が、古式に則り立派
に斎行されますことを切に願う次第であります。

崇敬会におきましては、先般第二十回伊勢神宮参拝研
修旅行が実施されました。これまで事故なく運営されて
まいりました事は、大神様の御神徳によるものと、痛感
させられる思いであります。また、今後一層の会員相互
の親睦を図ると共に、会の発展に繋がる事と信じており
ます。会員の皆様には、今後も末永く崇敬会活動にお力
添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、御首の大神様の御神徳を漏れな
く拝受され、愈々の御健勝と御多幸を祈念致しまして、
御挨拶とさせていただきます。

宮司 三浦 篤

『天若日子』 (天若日子)

大國主神が作った葦原の中〇国では悪い神たちが暴れていました。それを天の国から見ている天照大御神は「これは大変です。はやく悪い神たちをこらしめないとこいけませんね。」「と考えました。そして天若日子を呼ぶと

「天若日子、この弓矢を正しく使って、悪い神たちをこらしめてみてください。こらしめた後はすくに天の国へ帰って来てください。約束ですよ。」「と話す、天若日子は「はい、分かりました。」「と返事をし、お共に



天佐臈売を連れて葦原の中〇国へ向かいました。

天若日子はその言葉通り、あっという間に悪い神たちをこらしめてしまいました。でも、葦原の中〇国で出会った下照比売と結婚してしまったので、天の国へは帰って来ませんでした。そのまま八年が過ぎ、天照大御神は「天若日子は一体何をしているのさ。」「と心配になり、雉を呼びつけて「雉、葦原の中〇国へ飛び、これから私が言うことをそのまま天若日子へ伝え、なぜ帰って来ないのか聞いておくれ。」「と云うと、雉は天若日子のこころへ飛んで行きました。

雉は天若日子の家の庭にある木の枝に留まると『天若日子、あなたを葦原の中〇国へ行かせたのは悪い神たちをこらしめようなのです。終わればすくに戻り約束をのび、こらして八年も帰ってこないのですか?』と天照大御神の言葉を何度も繰り返し鳴き続けました。

最初にその声を聞いたのは天佐臈売でした。天佐臈売は「これを聞いたら、天若日子は帰ってこまうかもこれない。は、私は今更天の国へ帰じとらないわ…。」



「一体どうしたら良いものが。」と考へ、そして「ついでに！
と天若日子に「庭の木に不吉な鳴き声の鳥があるぞ。悪い
いことが起る前に早く追い払いなさい！」と叫びま
した。天若日子はその言葉をすっかり信じてしまい、大切
なる矢で雉を殺してしまつたのです。

矢は雉を突き抜けて天の国まで飛んで行きました。血
の付いた矢を見た天照大御神はたいそう驚き「この矢は
天若日子に与えたものです…しかし、この血は？」と首
を傾げ「赤く染まりし矢よ！天若日子が私の言ひごとを

守れないならば、天若日子の悪い心まやっつけなさい！」
と祈りをこめて、矢を葦原の中へ国へ投げ返しました。
矢はまるで、流れ星のやうに夜の空に飛び出し、グッス
リ寝ている天若日子の元へ「スーッ」と近づきました。
そして天若日子の心に「ドンッ！」と突き刺さりました。
そして、天若日子は天照大御神の約束を守らず、また
雉を殺してしまつたため、悪い心に矢が刺さり死んで
しまいました。



◎おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん！
古来より伝わる神話を、お子さまやお孫さまと一緒に読み
子供たちの情操が少しでも豊かになりましたら幸いです。

祭事報告

例大祭

四月二日 午後三時



例大祭の前日はあいにくの雨に見舞われましたが、当日朝には雨も小康状態となり、子供神輿の御巡幸を皮切りに、子供達の打ち囃しの奉納・演芸、香具師の威勢の良い声と境内はお祭りムード一色に染まりました。定刻午後三時には献幣使をお迎えし、宮司以下祭員奉仕のもと、例大祭が執り行われました。夕刻七時には祭りを締めくくる打ち囃しが境内に響き渡り、賑やかな一日が納まりました。

諸祭典（抜粋）

月次祭	一日・二十日
年越大祓	十二月三十日
元旦祭	一月一日
左義長	一月十五日
淨火祭	二月三日
祈年祭	二月十四日

御首神社ホームページ 神職への質問Q&A

問 神社で受けるお札さまは、表面が薄い紙で覆われていますが、神棚にお祀りする時はそのまま良いでしょうか？

答 薄い紙は、お札さまが汚れたり不浄に直接触れないように、上包みとして施されています。従いまして、薄い紙はお外し頂いてお祀り下さい。

問 神棚（宮形）とお札さまが、棚板の取付が悪かった為に床に落ちてしまいました。その神棚とお札さまは、そのまま再度お祀りしても大丈夫でしょうか？

答 落下防止策を施した上で、その神棚を再使用するのには仕方なく思います（破損の場合は別）が、お札さまは鄭重に返納なされ新しいお札さまをお受けの上、お祀り下さい。その際、お近くの神職にお被いして頂くより丁寧かと思えます。

問 父が脳梗塞の後遺症のため、現在車椅子生活です。近々、御首神社に参拝したいのですが、車椅子でも大丈夫でしょうか？

答 車椅子で拝殿前までお進み頂く事は、残念ながら出来ませんが、境内には遙拝所がございますので、そちらからの参拝は可能です。また、ご祈祷につきましても、遙拝所にて執り行う事も出来ますので、御参拝の折にはお声をお掛け下さいませ。

締め 神棚（宮形）のお祀りの仕方に関わるご質問はもとより、「お守りなどの授与品・ご祈祷の詳細」等のお尋ねも増えてまいりました。些細な事でも疑問を抱かれました折は、気楽にお書き込み下さいませ。

第二十回 御首神社崇敬会 伊勢神宮参拝研修旅行

毎年恒例の伊勢神宮参拝研修旅行が、五月十六日に実施されました。

昨年に掛け替えの済みました真新しい宇治橋を渡れる事もあり、多数のご参加を頂き、賑やかな参拝研修旅行となりました。



当参拝研修旅行は、崇敬会会員相互の親睦を図るために毎年実施されており、誠にありがとうございます。

崇敬会に興味を抱かれた方には詳しい案内をお渡し致しますので、社務所までご一報下さいませ。様お願い申し上げます。

昇殿参拝における 敬礼作法について

参拝の仕方には、自由参拝と昇殿参拝があります。自由参拝は、気ままに神社に赴き、お社や拝殿の前で二礼二拍手・一礼にてお参りする事を言います。



対して昇殿参拝は、一般的に神社社務所で昇殿参拝の手続きを経た後、関係者の案内で拝殿に上がります。その後、神職による修被(お被い)を受け、祝詞(のりと)・奏上・玉串(当社は金幣串)奉奠等の厳肅な奉仕を以て行う最も鄭重な参拝を言います。

当社で執り行われております、ご祈祷や正式参拝・崇敬会入会報告祭は、この昇殿参拝に含まれ、作法の主たる形態は、座礼(ざれい)であります。座礼の基本姿勢は正座になりますので、昇殿参拝をなさいます皆様方もこれに準じて頂きまして、参拝中は基本的に正座となります。(但し、お足の不自由な方はこの限りでなく、無理のない範囲でよろしいかと存じます。)

ところで、最近ご祈祷の昇殿参拝で目につきますのは、正座をしている時に行う敬礼作法(お辞儀)が、正しく出来ないことです。ご祈祷の中で行う敬礼作法は、二通りでございまして説明いたします。

一つ目は「双手礼」(そうしゅれい)と称し、比較的浅いお辞儀です。手と手の間隔は



凡そ十センチです。お被いをお受けになる時、祝詞が奏上されている間の姿勢になります。



[双手礼]

二つ目は、「合手礼」(ごうしゅれい)と称し、深いお辞儀です。両手の人差し指と親指が三角形になるまで突き合わせます。金幣串を奉奠後の二礼・二拍手・一礼のお辞儀の姿勢になります。



[合手礼]

このように、二通りの敬礼作法(お辞儀)でございますので、挿絵をご参考になり、昇殿参拝時の敬礼作法を再認識頂きたくお願い申し上げます。また、ご神前で実践さすれば、必ずや神様のご神徳が頂けることと思っております。

崇敬会入会のご案内

入会の方法

御首神社の御神徳に感謝し当社を崇敬される方は、どなたでも入会出来ますので御参拝の折、社務所にお申し出下さい。尚、郵便にても受付出来ますので、申し込み用紙を御請求頂ければ、お送りさせて頂きます。お申し込みされますと、神前にて入会報告祭が執り行われ、会員証・認定状等が交付されます。

会費(年会費)

- 一、個人会員 三千円以上お志し
- 一、家族会員 五千円以上お志し
- 一、特別会員 一万円以上お志し
- 一、法人会員 二万円以上お志し
- 一、名誉会員 三万円以上お志し

会員の特典(抜粋)

- 一、神前にて入会報告祭が執り行われます。
- 一、誕生日には特別祈祷が行われ、神符が授与されます。
- 一、春の例大祭・秋の崇敬会大祭にはご案内申し上げます、大祭特別祈祷神符及びお供え等が授与されます。
- 一、夏越・年越大祓にはご案内申し上げます、ご祈祷致します。
- 一、参拝の折、会員証を御呈示になられますと、会員の方は正式参拝が許されます。

祭事案内

夏越大祓

八月八日 午後三時半

古より夏越大祓は「水無月の夏越の祓へする人は千歳の命延ぶといふなり」と詠われますように、日々の暮らしの中で知らないうち

また、人形（ひとがた）は社務所にございますので、ご自由にお持ち頂きまして、期日までに社務所にお申し込み下さいますようお願い申し上げます。



七五三祝祈禱 十一月～未まで
七五三祝祈禱は、今日までの無事成長を大神様に感謝申し上げ、今後益々の御守護を戴きますようお願いしております。

昔は、数え歳男児三歳・五歳、女児三歳・七歳にお祝いされておりましたが、現代では、数え歳若しくは満年齢の男女共に三歳・五歳・七歳の各歳に参拝されるお子様も多数お見えになります。

平成22年 七五三		
	数え歳	満年齢
7歳	平成16年 生まれ	平成15年 生まれ
	平成18年 生まれ	平成17年 生まれ
5歳	平成20年 生まれ	平成19年 生まれ
	平成16年 生まれ	平成15年 生まれ

諸祭典（抜粋）

- 月次祭 一日・二十日
- 農休み祭 六月二十日
- 西宮神社例祭 七月十七日
- 末廣稻荷神社例祭 八月八日
- 長寿祈願祭 九月十五日
- 崇敬会大祭 十一月三日
- 新嘗祭 十一月二十三日

大鳥居等注連縄奉賛のお願い

当社の鳥居や拜殿の注連縄は、天然藁（わら）で、毎年調製してまいりましたが、資材調達・技術継承・安全性等の諸問題を抱へ大変厳しい状況にあります。



注連縄を新年より掲げる運びとなりました。つきましては、皆様の赤誠によるご奉賛をたまわり、大神様の御神威に相応しい立派な注連縄を掲げたく、ご協力の程お願い申し上げます。

尚、この趣旨にご賛同のお方は社務所までお申し込みただければ幸いです。

編集後記
神饌田の早苗そよぐ姿に、命の躍動を感じる今日この頃です。今号は、少し装いを変えてみました。この先も新風を吹き込んでまいりたく思います。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町二二八三の一
TEL(〇五八四)九一 三七〇〇
Eメール syamusy@mikubi.or.jp